

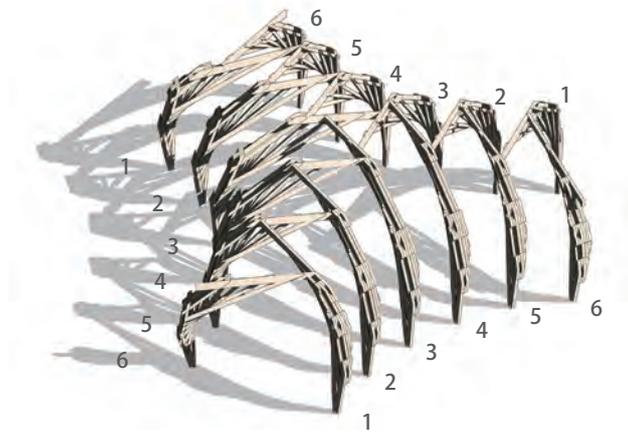
野田市郊外にたつ礼拝施設の再建と霊園の改修計画です。

建物は、竹林、日本庭園、盆の行事を行う池の3方向に沿ってのびる柔らかな曲線を持ち、自然と一体となった(特定の宗派をこえる)新しい考え方に基づいた礼拝堂です。

この場所の歴史を、小さな材を集めて作る木の空間として継承しました。

霊園はランドスケープの視点から再整備。ともすると無機的、画一的な空間となる墓域を、生垣で囲い視線を制御、緑の潤いのある親しみのある個人に相応しい墓空間を実現しています。

新しい考え方の木の礼拝堂と手入れの行き届いた質の高い霊園が一体となって、場所の価値を高め、この地域に、豊かな場所と新たなアクティビティを醸成します。



【6種3組の玉すだれ状の組柱の構成】

## 見学会のお知らせ

日時：2016年6月17日(金) 18日(土) 11:00~17:00

※18日はミニレクチュアを予定しております。

場所：千葉県野田市大殿井220

東武野田線、野田市駅等 / 別紙をご参照下さい。

連絡先：加藤建築設計事務所、加藤 (090-1804-4848)

場所の価値を高め、ここにしかない体験と活動を創出

- ▶ 場所のリノベーション
- ▶ 柔らかな軸性(象徴性)

力の流れを可視化する合理性と装飾性

- ▶ 物語をつむぐデザイン

力の流れを可視化する新しい木造の仕組みづくり

- ・120°点対称、平面形状を最大限に活かした架構形式
  - ▶ 相持ちシステム
- ・有限長の材により無限に広がり力のやりとりを集中させない
  - ▶ レシプロカルストラクチャー
- ・規格材を、南京玉簾のように組み合わせる
- ・曲面を直線材のみで構成する工夫と技術
- ・小径材によるコストコントロール
  - ▶ 玉すだれ構造
  - ▶ 推動

礼拝建物に求められる持続性・永続性

- ・木材の乾燥収縮による経年変化を抑える様々な仕組み
  - ▶ 木造の課題、経年変化

### ■概要

構造・階数 木造1階建  
基礎 べた基礎  
最高高さ 6,620mm  
最高軒高 3,200mm

### ■面積

建築面積 224.19㎡  
延床面積 190.11㎡  
敷地面積 2970.85㎡

### ■設計

意匠統括：加藤詞史 加藤建築設計事務所  
構造：山田憲明 構造設計事務所  
設備：テーテンス事務所

### ■施工

渡辺富工務店/オノツカ(プレカット)  
■設計期間：2014.11-2015.8  
工事期間：2015.10-2016.5